

提出 順番	No. 8	令和 4 年 2 月 25 日 午前・午後 3 時 58 分受領
----------	----------	-------------------------------------

令和 4 年 2 月 25 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 酒井 はやみ



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
ジェンダー平等に向けて男女共同参画基本計画の策定を	<p>ジェンダー不平等を正そうとする新たな気運が広がり、行政の努力も一定程度広がりつつあります。しかし、日本の男女の賃金格差は依然として是正されず、意思決定の場における女性の参画は遅れ、選択的夫婦別姓も実現されていないなど、「ジェンダーギャップ指数」は、156か国中 120 位と世界的にみても大きく立ち遅れたままです。</p> <p>2年にわたるコロナ禍は、日本社会の深刻なジェンダ一格差を改めて浮き彫りにしました。非正規雇用で働く多くの女性が仕事を失い、ステイホームのもとDV被害の増加に加え、女性の自殺者数も急増しています。</p> <p>家庭内労働による負担も女性に重くのしかかっています。町内でも学級閉鎖や保育園の休園などにより、家事や育児の負担が女性に集中しています。「休まざるを得ない看護師が次々と出て毎日遅くまで帰れない。夜勤まで増えた」「デイサービスの人出が足りないため、家族が家で介護しないといけなくなった」「子どもをどこにも遊びに行かせられず、保護者同士のつながりも薄くなり孤立しがち」などの声が上がっています。</p> <p>幕別町においても、町民の実情と意識にかみ合ったジェンダー平等の政策を強化する必要があると考えます。</p> <p>誰もが性別にかかわらず個人の尊厳が大切にされ、自分らしく生きられるジェンダー平等社会にむけ、どのようにこの課題を進めようとしているのか、伺います。</p>

- 1 コロナ禍で浮き彫りになった、ジェンダー平等への取組の重要性についてどのように受け止めていますか。また、日本がジェンダーギャップ指数 120 位という極めて遅れた位置にあることについて、どのように受け止め、今後どのような取り組みが必要だと考えていますか。
- 2 内閣府の男女共同参画局の調査によると、男女共同参画基本計画を策定する自治体が広がり、町村でも 69.4% となっています。計画をもとに住民参加の推進体制がとられ、多彩な活動に取り組みながら計画改定を積み重ねている自治体もあります。2020 年 12 月に改訂された政府の第 5 次計画の作成にあたっては若い世代から 1,000 通を超える意見が提出されるなど、若い世代の関心が非常に高い課題でもあります。幕別町としても早期に基本計画を策定することが必要と考えますが町の考えは。
- 3 町の現状と課題を把握するために、町内、庁舎内の意識調査に取り組む考えは。
- 4 政府の計画では、2020 年代の可能な限り早期に指導的地位に占める女性の割合が 30% 程度となるよう取組を進めるとしています。昨年 3 月 1 日現在で 7.3% である町の女性管理職の割合を増やすために、町ではどのような取り組みが必要だと考えていますか。
- 5 失業、生活不安、DV、性犯罪、子育て、介護など、女性が抱える悩みは複雑であったりプライバシーに配慮した対応が求められるケースも多いと思われます。安心して気軽に相談できる、女性専用のワンストップ相談窓口を設置する考えは。
- 6 男女ともにお互いの身体的特性を十分に理解することが、互いの人権を尊重し合う姿勢につながります。学校教育の中でも、これまでは女性だけに理解を求められがちであった生理を始め、性に関する正しい知識を男女ともに身に付けることが求められると考えますが、町の考えは。